

水土里ネット 明治用水

(明治用水土地改良区)

「明治用水」は、愛知県のほぼ中央を流れる矢作川を明治頭首工で堰き止め取水しています。頭首工と約405 kmに及ぶ水路施設を管理し、安城市を中心とした西三河8市に農業用水を供給し、工業用水と水道用水も共用しています。

「碧海台地」を潤し130年

都築弥厚が用水計画をし、明治13年(1880)に完成した「明治用水」は、通水130年を迎えました。明治用水の完成で、碧海台地一体は大規模で多角的な農業経営が可能となり「日本デンマーク」と呼ばれるまでになりました。



市別	受益面積	組合員数
安城市	3,203.3	6,229
豊田市	289.8	743
知立市	389.0	1,028
刈谷市	678.0	1,830
高浜市	193.5	669
碧南市	265.0	569
西尾市	172.7	761
岡崎市	534.1	1,269
その他	—	238
計	5,725.4 ha	13,336人



「水」をつくる活動

明治用水は、先人達が掲げた“水をつかうものは自ら水をつくれ”を合い言葉に「明治の森林」を守り続けています。この活動(造林事業)は明治39年(1906)明治用水普通水利組合(現土地改良区の前身)の組合会において、決議決定され始められました。



名称	面積
根羽	427.33
平谷	36.12
羽布	54.89
有間	2.88
小渡	3.46
計	524.68 ha



長野県根羽村「明治の森林」



明治頭首工(豊田市水源町)



パイプライン化した水路上部利用



土地改良区が管理する実習田「水の駅(21枚田)」

<http://midorinet-meiji.jp/>